

鳴門教育大学（４） 絵本とその読み聞かせで学力をつけ、いじめを防ぐ

1 目的

人と人との関わりの中で最も基本的なことは、アイコンタクト・呼吸のシンクロ・スキんシップである。しかし、児童・生徒の中には、アイコンタクトが苦手であったり、人と呼吸を合わせたりスキンシップすることの心地よさを十分体験していない者も多い。そこで、本研修では、絵本の読み聞かせの実技練習により、教師自身がアイコンタクトや呼吸の引き込み（呼吸のシンクロ）・スキんシップの大切さを再認識し、学力形成やいじめの防止に役立つ知と心とを学ぶ。

徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画（第4期）との関連について
重点項目Ⅴ－推進項目15－③教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組

【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】

- 素養「C 社会性・コミュニケーション力」
- 担任力・生徒指導「A 児童生徒理解・指導力、幼児児童生徒理解・指導力」
- 特別な配慮・支援「A 個に応じた指導・支援力」

2 主催

鳴門教育大学、徳島県教育委員会

3 期日

令和8年7月24日（金）

4 会場

鳴門教育大学 共通研究A棟 6階 A3会議室

5 対象者

- (1) 職種 教職員
- (2) 校種 幼保・小・中・高・中等・特
- (3) 定員 20名

6 内容

- (1) 絵本の仕掛けとその読み聞かせの脳科学的効果（生徒指導・読書指導）を理解し、実感する講義
- (2) 音読・朗読の指導力を高めるための読み聞かせの実技（姿勢・呼吸・発声・発音）・実習
- (3) 「絵本とその読み聞かせ」によって、いかに学力をつけ、いじめを防ぐかを学ぶ講義・実習

7 講師

鳴門教育大学 高度学校教育実践専攻 国語科教育コース 特命教授 余郷 裕次

8 日程

9：30～9：50 受付（共通研究A棟6階 A3会議室）
9：50～10：00 開会、イントロダクション
10：00～12：00 講義

- (1) まるい大きな正面顔（ベビーシェマ）の効果
- (2) Motherese（育児語）
- (3) まるい大きな正面顔（右脳刺激）と育児語（左脳刺激）の同時刺激の効果

時刺激の効果

- (4) 読み手と聞き手による視覚的共同注視の効果
- (5) 画面構成による効果
- (6) 色彩（赤→青→緑→黄）知覚の効果

12：00～13：00 昼食

13：00～14：30 実習

発音の方法を体験する。

- (1) 絵本の読み聞かせの実技を通して、相手に声を届ける発声・発音の方法を体験する。
- (2) 絵本の読み聞かせの4原則を理解する。
 - ①絵本は楽しみとして与える。
 - ②絵本は大人が子どもに音読する。
 - ③繰り返し読む。
 - ④感想を求めない。質問しない。

14：40～15：50 講義・実習

- (1) 絵本による情報操作能力の育成について理解する。
- (2) 「絵本とその読み聞かせ」による、いじめ防止の効果について理解する。

15：50～16：00 リフレクション、閉会

9 準備物

- ・読み聞かせをしたい、紹介したい絵本があれば持参してください。
- ・筆記用具

10 その他

- (1) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職（緊急の場合は本人）が担当者まで電話連絡し、管理職は、速やかに欠席届（PDF形式）をメールに添付して提出してください。送付

は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。欠席届の様式は、Plantの該当研修のページ又は、総合教育センターのWebサイト（令和8年度研修講座一覧「とくしま教職員研修」33ページを参照）からダウンロードできます。

【送付先】〔教諭、栄養教諭、学校栄養職員〕

総合教育センター教職員研修課

kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

※県立学校は、学習系端末（外部メール）から提出してください。

〔養護教諭〕

体育健康安全課

taiikukenkoanzenka@pref.tokushima.lg.jp（県立校からJoruriメールでの送信

時に使用）

taiikukenkoanzen@g.tokushima-ec.ed.jp（上記以外に使用）

〔幼稚園教諭、保育教諭〕

義務教育課

gimukyoku_1@g.tokushima-ec.ed.jp

※公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園は、所管の市町教育委員会又は児童福祉担当部局へもメールに添付して提出してください。

(2) 研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域（鳴門教育大学の場合は「鳴門市」地域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。

(3) 研修当日、出発地又は研修会場までの経路を含む地域に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表されたことにより旅程に支障がでる場合は、管理職を通して電話連絡してください。欠席の場合は(1)の手順に従ってください。

(4) 研修にふさわしい服装で参加してください。

(5) 昼食は近辺でとるか、各自で御準備ください。大学食堂も御利用いただけます。

(6) 本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 指導主事 新久保 諭 088-672-6419